

1年間の活動が終了しました。様々な個性や背景をもった少年に対して、「居場所づくり」や「学習支援」と、幅広く寄り添い、絆を作ってきました。

絆

きずな

づくり通信



No. 54

2017

/3/13



【12月11日（日）】

松阪市の「みんなの農園」において、南勢少年サポートセンター主催の、「アグリ活動（農業体験）」を実施しました。畑作業の前に地域の名所である「美濃田の大仏」まで参加者全員で歩き、その後、9月に種蒔きをした冬野菜を、若樫サポーターをはじめ参加者みんなで土まみれになりながら収穫しました。大きく実った冬野菜は、皆で分けて持ち帰りました。少年たちも嬉しそうでした。

【2月19日（日）】

津警察署において、中勢サポートセンター主催の「創作体験活動」としてちぎり絵による絵ハガキ作りを実施しました。被害少年サポーターでもある講師の指導の下、見本の絵柄を選び、作業に入りました。

少年をはじめ参加者全員が作業に没頭し、色鮮やかな作品ができあがりました。その後、できあがった作品を通じて、年齢差に関係なく会話が弾み、楽しい活動となりました。



【学 習 支 援】



「勉強が遅れてしまった」「これから受験を控えているがどうしたら良いかわからない」といった少年たちの声を受け、若樫サポーターが支援してきました。

北勢サポートセンターで、受験を控えた中学3年生に対し、半年近い期間にわたって、少年の持つ将来への展望を実現できるように学習支援を実施しました。少年と若樫サポーターは信頼関係で結ばれ、真剣に学習に向かう姿が見られました。



11月20日（日）に実施した陶芸活動の作品（伊賀焼き）が届きました。

三重県警察